

# REPORT & INFORMATION

## お知らせ Information

### 署名活動

#### 「子どもの人身売買」の根絶をうったえる 署名キャンペーンがはじまりました

現在、世界では、毎年120万人の子どもたちが人身売買の犠牲となっています。日本にも、フィリピン、タイ、コロンビアなどの国々にから人身売買の犠牲となつた子どもたちが送られてきています。しかし、日本では、「子どもの人身売買」を取りしめるための法律がまだありません。のために、日本政府が昨年5月10日に署名した「子どもの売買、子ども売買および子どもポルノグラフィーに関する『子どもの権利条約』の選択議定書」の批准（国が条約の内容に最終的に同意すること）ができないままになっています。日本ユニセフ協会は、日本がこの選択議定書を早く批准し、必要な法律の整備を急いでおこなうように国会に求めていきたいと考えています。今回の署名活動もそのためのものです。署名の期限は6月末までです。署名用紙がほしい人は、ユニセフ子どもネット事務局までご連絡ください。また、ホームページでもダウンロードできます。（<http://www.unicef.or.jp>）

### セミナー

#### 日本ユニセフ協会大使 アグネス・チャンさん 大使就任5周年記念連続セミナー

1998年4月に日本ユニセフ協会大使に就任したアグネス・チャンさんが、就任から5周年にあたる今年、これまで訪問したタイ、スーダン、ティモール、フィリピン、カンボジアでの体験や、日本国内で参加したユニセフ支援活動の思い出、日本の子どもたちに期待することなどを話す6日間連続のセミナーがひらかれます。関心のある人や参加したい人は、子どもネット事務局までご連絡ください。1日だけの参加でも大丈夫です。

日時	各日のテーマとゲスト
2003年 4月21日(月) - 25日(金) 午後6時30分 - 8時30分	21日 私とボランティア：香港から日本、カナダへ ゲスト：亀淵昭信（株）エッポン放送代表取締役社長
4月26日(土) 午後2時 - 4時	22日 アフリカの思い出（エチオピア、スダノ） ゲスト：アリス・ウォーカー（作家）（同時通訳付き）
会場 ユニセフハウス 1階ホール	23日 アジアの子どもたち（仮題） ゲスト：新井満（作家）
入場料 無料	24日 日本でのユニセフ活動と子どもの商業的的搾取 ゲスト：東郷良尚（（財）日本ユニセフ協会専務理事）
	25日 子どもにふさわしい世界を作るためには ゲスト：安倍晋三（衆議院議員）
	26日 日本の子どもたちに期待すること ゲスト：毛利衛（日本科学未来館館長）（予定）

### 更新

#### 2003年度のユニセフ子どもネット更新をおねがいします

今回のニュースレターには、2003年度のユニセフ子どもネットの更新のご案内が同封されています。更新作業がスムーズにいくように、4月22日(火)までに更新の手づきをしてください。2003年度もさまざまな活動をみなさんと一緒におこなっていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

### 新しい資料のご紹介

#### 『2003年世界子供白書』（日本語版）

2~3ページでも紹介している通り、今年の書のテーマは「子ども参加」です。各国で活動をしている子どもたちの事例などが紹介されています。ご希望のネットワーカーには、1部まで無料でさしあげます。

#### 『世界子供白書2003』7分

ビデオ キューバの幼稚教育プログラムやタイの子ども参加を導入した学校教育、アルバニアで10代の子どもたちが作ったテレビ番組など、子ども参加をうながすためのプログラムの事例が報告されています。



『2003年世界子供白書』とビデオの貸し出しのもうしこみは、ユニセフ子どもネット事務局まで。

### お問い合わせ・もうしこみは

#### ユニセフ子どもネット事務局

（日本ユニセフ協会 広報室）

住所：〒108-8607

東京都港区高輪4-6-12

電話：03-5789-2016

ファックス：03-5789-2036

電子メール：[jcuinfo@unicef.or.jp](mailto:jcuinfo@unicef.or.jp)



### 報告

#### Report

#### アジアの子どもの商業的搾取について学校で発表しました

昨日11月11日と18日に学校の授業の一環として、子どもの商業的搾取に関する発表をおこなった。タイ、フィリピン、カンボジア、ネパール各国の状況、子どもが東南アジアでどのように人身売買されているか、子どもたちのこの問題に対するとりくみなどについて調べたことを、日本との関連も含めて発表した。合計で約1時間、手作りのプリントとユニセフから貸していただいたビデオを使っての発表に、クラスメイトの反応はさまざまでしたが、ビデオに登場する子どもたちの発言や保護者が子どもを売っていることなどが衝撃的のようだった。発表前には、この問題について知らないというクラスメイトがほとんどで、知っていると答えた人は40人中5人だった。

被害者ではない私が発表することに戸惑いもあった。しかし、発表の1ヶ月ほど前に、学校でタイで貢春被害者の女性を助ける組織の方のお話を聞くチャンスがあり、私達にできることのひとつとして“CREATE AWARENESS（意識を生み出すこと）”ということを挙げられていた。私の発表を興味を持ってきてくれたクラスメイトもいて、私はこの発表で、“CREATE AWARENESS”的機会を少しでも生かすことができ良かったと思う。 大島由香子（17歳）



#### ユニセフ子どもネット@関西

#### ネットワーカーがハンド・イン・ハンド募金活動をおこないました

学習会の時の話し合いで、ハンド・イン・ハンドに参加しようと決めた関西地域のネットワーカーが、1月4日（土）午前10時～午後3時まで、神戸市内で街頭募金活動をおこないました。中心となったネットワーカーたちが友達などにも呼びかけて、合計17人の中学・高校生が参加し、124,555円もの募金が集まつたそうです。

この冬一番と言わされた寒さの中、高校生は各学校の制服で参加しました。主催者6名（うちネットワーカー4名）以外にどれくらいの人が参加してくれたのか、事前説明会に参加していなしだいめんい初対面の人がはじめるなど、初めは不安もありましたが、みんなで仲良しく協力してできたと思います。 岩島史（17歳）

#### ユニセフ子どもネットニュースNO.3を読んで

#### ネットワーカーからの感想

- 学校に行きたくても行けなかったりして、かわいそうでした。私は学校に行きたくないとさがあるけれど、アフリカの人たちは、それはぜいたくだと思うような気がします。お金がなくて、生活の苦しい人びとの支援がもっと必要なことを知りました。 遠山優香 13歳
- 4ページに「世界の5人に1人は1日120円以下の生活」と書いてあり、すごく驚きました。それと、5ページの右にあるヨハネスブルクでの子ども達のスピーチで、政府と世界の人びとに対する要求がありました。本当に共感します。当たり前のようなことを守るのがすごくむずかしい。だから私たちネットワーカーや、そういう問題に理解のある人たちが先頭となり、良い社会、良い世界をつくっていかなければならないと思いました。 砂田明日香 15歳
- 以前からアジアで人身売買がひどい状態になっていることは、ユニセフのホームページで知っていました。“小さい子どもならエイズにはかからないという考え方を持ったおとなが、子どもの性を買ってもてあそんでいる”というレポートをみてぞつとしました。また、最近では外国からその子どもの性を買ってもてあそぶという事態もあるそうで、日本のおとなも多いそうです。このことは、日本人としてまた地球市民として絶対に許してはいけないことだと改めて認識しました。 石田有佳 16歳

